

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)センコーグループホールディング	階数	地上5F
建設地	大阪府東大阪市水走	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年10月6日
敷地面積	9,164 m ²	作成者	株式会社浅沼組 石田 博之
建築面積	6,291 m ²	確認日	2023年10月6日
延床面積	29,597 m ²	確認者	株式会社浅沼組 石田 博之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	補修・更新必要間隔の長い仕上げ材や配管を使用しているため、耐用年数の長い建築物である	その他 特になし。
Q1 室内環境	建物内全館禁煙である。建築基準法を満たしており、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い外壁仕上げ材を使用しており、主要内装仕上げ材や、空調・給排水配管においても、更新必要間隔が長い部材・配管を使用している。
LR1 エネルギー	BEIm: 0.49	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を用いた断熱材を使用していない	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」「広告物照明の扱い」のチェックリストの項目、の配慮事項の過半を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)センコーグループホールディングス(株) 東大阪第2PDセンター建設工事					
	建設地	大阪府東大阪市水走					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
その他			
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項			